

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日: 2022年10月13日

所属学部／研究科・学科／専攻	農学部 / 食料環境政策学科
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: カリフォルニア大学デービス校 University of California, Davis 現地言語: 英語
留学期間	2022年6月～2022年9月
留学した時の学年	4年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	4年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2022年9月20日
明治大学卒業予定年	2023年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1 学期: 9 月下旬～12 月上旬 2 学期: 1 月上旬～3 月下旬 3 学期: 3 月 下旬～6 月中旬 4 学期: 6 月下旬～9 月上旬 (記入例/1 学期: 4 月上旬～7 月下旬, 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬)
学生数	約 40,000 人
創立年	1905年

留学費用項目	現地通貨 (ドル)	円	備考
授業料	7,800	988,198 円	換算レート: 126.6 円
宿舍費	3,213	449,820 円	換算レート: 140 円
食費		円	
図書費	156	21,840 円	換算レート: 140 円
学用品費		円	
携帯・インターネット費		22,099 円	
現地交通費		円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
被服費		円	
医療費		円	
保険費		45,495 円	形態: 明大サポートの保険(4 か月分)
渡航旅費		238,420 円	
ビザ申請費		64,744 円	Visa Appointment Payment + SEVIS
雑費		円	
その他	約 3,230	約 452,200 円	ラスベガス、LA×2、ハワイ旅行
その他		約 320,000 円	外食、日用品、お土産購入など
合計		約 2,600,000 円	

渡航関連

渡航経路
往路 出発地:成田空港 目的地:サンフランシスコ空港 経由地: 復路 出発地:サンフランシスコ空港 目的地:成田空港 経由地:
渡航費用
①往復チケットを購入した場合 航空会社:JAL 料金:238,420 円 ②片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: 料金: 復路 航空会社: 料金: ∴合計:
航空券購入方法
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名:JAL の公式サイト) <input type="checkbox"/> その他()

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)
<input type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前:) <input type="checkbox"/> アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ
2)部屋の形態
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数)
3)共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input type="checkbox"/> 自炊可 <input checked="" type="checkbox"/> 自炊不可)
4)住居を探した方法:
ホームステイのエージェントに連絡をとり、ホームステイ先を紹介してもらった。
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
食事付きのホームステイがおすすめです。ホストファミリーとの英語でのコミュニケーションは最大の魅力です。また、寮(食事なし)はホームステイ(食事有)の 1.5 倍ぐらいのお金がかかるそうです。しかも、アメリカは物価が高いので外で食べ物を買くと出費がかなりかさみます。ホストファミリーとの交流だけでなく、金銭面からもホームステイはおすすめです。

現地情報

1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院, 学内の診療所)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(治療を受けた場所:)
2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。(例:留学先大学の相談窓口, 現地の友人等)
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(問題の内容や相談した人等:)
3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
危険地域情報は旅レジャや留学先大学が配信しているメールから収集していました。深刻な犯罪の発生などはなかったので、貴重品を肌身離さず持つておく、危険なエリアにはいかないなどの基本的な防犯対策をしていました。留学中、私は自転車のグリップを盗まれました。盗まれてからは盗まれにくいような場所を選んで自転車をとめるようにしました。
4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)
携帯電話は日本の大手キャリアのアメリカ放題を使っていました。電波を自動で拾う設定にしているとインターネット回線が悪かったです。設定で拾う電波を指定したところ、どこでもストレスなく、問題なく使えていました。現地では意外と電話や SMS を使う機会があるので、電話番号が使える状態だと良いと思います。PC を使うときは大学やホームステイ先の Wi-Fi を使っていました。大学の Wi-Fi はほとんどの場所で問題なくつながっていました。図書館の地下だけは電波が弱かったです。
5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)
基本的にプリペイドカードを使用していました。ホームステイ代を毎月現金で支払わなければならなかったため、デビットカードで ATM から現金を何度か引き出しました。
6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。
ランチバック、日焼け止め(現地でも買えるけど高いです)。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)
渡航の2か月ぐらい前にクレジットカードで支払いました。かなり高額なので、クレジットカードの使用上限を確認するといと思います。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
12単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() ・履修の制限はありましたか? 授業によっては制限があるのでシラバスを確認しました。	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Food Science, Folklore & Health	食品科学、民間伝承、健康
科目設置学部・研究科	FST
履修期間	Summer Sessions 1
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が3回
担当教授	Dr. Bwalya Lungu
授業内容	食、民間伝承、健康について学びました。食であれば炭水化物・たんぱく質・脂質の特徴について、民間伝承であれば世界各国の食に関する伝承や神話について、健康であれば食中毒やアメリカにおける肥満についてなどを学びました。
試験・課題など	Midterm が3回ありました。追加のテストも行われました。
感想を自由記入	食品添加物についても学ぶことができたので私にとって最も面白い授業でした。ふぐを食べる文化や使われている食品添加物の違いから、海外からみた日本の食についても知ることができたので興味深かったです。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Pop Culture Shakespeare	ポップカルチャーシェイクスピア
科目設置学部・研究科	ENL
履修期間	Summer Session 1
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義&ディスカッション形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が2回
担当教授	Kirsten Schuhmacher
授業内容	シェイクスピア作品「ジュリアス・シーザー」「ロミオとジュリエット」「十二夜」「ハムレット」を扱って、現代作品としてどのように脚色されているか、そこにどのような意味があるのかを中心にディスカッションを行いました。
試験・課題など	毎週クイズ、外ワー作成課題、意見文の課題が出ました。期末には自分でシェイクスピア作品の脚色を作成する課題がありました。
感想を自由記入	シェイクスピア作品の奥深さを学ぶことができて非常に面白かったです。授業のほとんどがディスカッションだったので、学生が自らの意見を持ち、発言する力が求められました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Introduction to Brewing & Beer		醸造とビールの紹介	
科目設置学部・研究科	FST		
履修期間	Summer Session 2		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に60分が2回		
担当教授	Glen Fox		
授業内容	ビールのつくり方や種類などを学びました。		
試験・課題など	毎週テストがありました。		
感想を自由記入	UCD は農学部が強く、食に関するユニークな授業が数多く開講されています。その中の一つがこのビールの授業です。ビールがどのようにつくられるのかを学ぶことで、ビールに対する見方が変わりました。UCD に留学したらぜひ受けてみてほしい授業です。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Discoveries & Concepts in Nutrition		栄養学における発見と概念	
科目設置学部・研究科	NUT		
履修期間	Summer Session 2		
単位数	3		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に80分が4回		
担当教授	Dr. Fetter		
授業内容	栄養について学ぶことで、自らの食生活を見直します。		
試験・課題など	毎週テストがありました。課題は食事記録をつけて分析し自分の食生活を見直すプロジェクト、健康目標のプロジェクトなどがありました。		
感想を自由記入	Food Science, Folklore & Health を受けて栄養学に興味を持ったので受講しました。それ以前から食や健康について興味を持っていましたが、その根本である栄養学をしっかりと学んだことがなかったので、食に対する考えが深まり非常に勉強になりました。		

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に活用したウェブサイト, 書籍, 機関など
M-Career
3)就職を選択した方は, 差し支えなければ内定先を教えてください。また, その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前, あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※就職活動をこれから始める場合は, 差し支えなければ現時点で希望する業界, 職種等を教えてください。
株式会社日本政策金融公庫に入社予定です。明治大学、UCD で農業について学んだり、生産者の元へ訪れ農業を共にしたりした経験から、生産者を支える仕事がしたいと考えたからです。他にも、農業関係の会社や食品メーカー、食品商社などからも内定をいただきました。
4)就職活動中・終了に関わらず, 就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い, 留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※就職活動をこれから始める場合は, 留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
就活があっても留学に挑戦することをおすすめします。私は 4 年生の 6 月上旬まで就活をして、6 月中旬からアメリカに留学しました。留学の願書を出す頃はまだ 3 年生の冬だったので、就活がうまくいこうかと不安でいっぱいでした。しかし、学生の間にしかできないことを大切にしたいと思い、留学を決断しました。実際に留学準備と就活の同時進行は大変ではありましたが、何とかできました。私は 3 年生の夏からインターンシップにいき、3 年生の秋から本選考を受け始めていました。本命の企業の面接が 6 月解禁だったため留学開始ギリギリまで就活をしていましたが、無事に内定をいただくことができました。就活を早めに始めていれば、留学との両立も十分可能だと思います。就活があっても留学を諦めないでください!
5)進学を選択した方は, 差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備, 試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は, その進路を選択した理由と, 留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備, 試験勉強, 留学中, 留学後, 特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例: 語学試験の勉強, 選考, 出願, ビザ申請・取得, 航空券購入, 予防接種, 滞在先の確保, 留学中の中間試験, 期末試験, その他イベント等

留学開始年の前年	1月～3月	語学試験の勉強
	4月～7月	語学試験の勉強、語学試験
	8月～9月	語学試験の勉強、語学試験
	10月～12月	出願・選考
留学開始年	1月～3月	ビザ申請・取得、予防接種
	4月～7月	航空券購入、滞在先の確保、留学中の中間試験・期末試験
	8月～9月	留学中の中間試験・期末試験
	10月～12月	
留学/帰国年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

この留学先を選んだ理由は、農学部が世界的に有名であるUCDで現地生と同じ授業を受けてみたいという思いがあったからです。また、1年生の時にUCDに短期留学をして、デービスの町を好きになったこと、以前出会ったUCDの学生にもう一度会いたいという思いも理由の一つでした。

留学生活全般については、つらいこともありましたが非常に良い経験でした。英語のスピーキングやリスニング力が足りずに授業についていくことに不安を覚えたり、ホストファミリーとのコミュニケーションで悔しい思いをすることも多かったです。しかし、向き合うことを大切にして挑戦することで、少しずつ乗り越えられるようになりました。

留学中には友人とサンフランシスコ、ラスベガス、ロサンゼルス、ハワイに旅行もしました。留学先で出会った友人との旅行は普段とは違う価値観に触れることができ面白かったです。留学生生活を充実させるためにも、友人をつくれるような機会には積極的に参加することをおすすめします。

就活や金銭的なハードルで留学に挑戦することをためらっている人も多いかと思います。私もその一人でした。それでも、留学への思いを諦めきれず、コロナウイルスに振り回されながらも挑戦を決意しました。就活は早めから準備して早めに内定をいくつかいただけたことで、心の余裕を持つことができました。金銭面は奨学金を活用することで、両親からお金を1円たりとも出してもらわなくて留学を終えることができました。留学には様々なハードルがありますが、本気で留学したい気持ちがあればどうにかできることも多いと思います。ぜひ、あがいてみてください。皆さんのチャレンジを心から応援しています。